

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|------------------------------|
| 学校名 | 公益社団法人鹿児島県歯科医師会立 鹿児島歯科学院専門学校 |
| 設置者名 | 伊地知 博史 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | http://www.8020kda.jp/webpat/newsview.php?mode=d&aid=1202&cid=11&page=1 |
| 収支計算書又は損益計算書 | http://www.8020kda.jp/webpat/newsview.php?mode=d&aid=1202&cid=11&page=1 |
| 財産目録 | http://www.8020kda.jp/webpat/newsview.php?mode=d&aid=1202&cid=11&page=1 |
| 事業報告書 | http://www.8020kda.jp/webpat/newsview.php?mode=d&aid=1202&cid=11&page=1 |
| 監事による監査報告（書） | 「鹿児島県歯科医師会定時総会日程」へ掲載 ※閲覧方法・・・閲覧申請書の提出により可 (鹿児島県歯科医師会事務局内据え置き) |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|--------|----|-----------------------|-------------------------|---------|-------------------------|---------|---------|
| 医療分野 | | 専門課程 | 歯科衛生士科 | ○ | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 3119単位時間 | 単位時間/単位 2013 単位時間 | 単位時間/単位 | 単位時間/単位 1106 単位時間 | 単位時間/単位 | 単位時間/単位 |
| | | | 単位時間 3119 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 150人 | | 133人 | 0人 | 5人 | 117人 | 122人 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）・授業計画（シラバス）の作成は、前年度中に各教員へ見直しを依頼し、最終的には、専任教員が集約し作成している。各講師から頂いた授業計画を冊子にして、新生が入学直後に配布し説明を図っている。</p> <p>歯科衛生士・歯科技工士の養成に関する指定規則をもとに、効果的な教育を行えるように、専任打合せ会、教務打合せ会、学校運営小委員会等の会議で検討し作成している。</p> |

| |
|---|
| <p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)・前期試験および後期試験を実施し、100点満点の60点以上が合格で、合格者には単位を与えている。本試験不合格者には、再試験を実施し再試験も100点満点の60点以上が合格である。</p> <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を用いて、客観的な指標として設定している。前期および後期試験を2回実施しており、いずれも同様の方法を用いている。</p> |
| <p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)・1月中旬頃に、非常勤講師を集めての教員会を開催し、成績や授業態度等について意見を貰い、最終的な卒業・進級の判断は校長が行う。</p> |
| <p>学修支援等</p> <p>(概要)・欠席等があった場合は、定期試験前の放課後あるいは長期休暇を利用して、補習を行っている。また国家試験前は補講等を行っている。</p> <p>実技面においては、放課後を利用して実技上達の為に支援している。</p> |

| | | | |
|--------------------------------------|-----------|-------------------|-----------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 49人 (100%) | 0人 (%) | 49人 (100%) | 0人 (%) |
| (主な就職、業界等) ・歯科医院 | | | |
| (就職指導内容) ・求人票の見方、見学および面接時の挨拶の仕方など | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) ・歯科衛生士 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| | | |
|--|----------------|-------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 170人 | 11人 | 6.47% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施や日頃から学生への声掛けを行っている。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------|----|-----------------------|----------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 医療分野 | | 専門課程 | 歯科技工士科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2 年 | 昼 | 2002 単位時間 | 596 単位 時間 | 単位時間 /単位 | 1406 単位 時間 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 |
| | | | 単位時間 2002 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40 人 | | 25 人 | 0 人 | 3 人 | 25 人 | 28 人 | |

| |
|---|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| <p>(概要)・授業計画(シラバス)の作成は、前年度中に各教員へ見直しを依頼し、最終的には、専任教員が集約し作成している。各講師から頂いた授業計画を冊子にして、新入生が入学直後に配布し説明を図っている。</p> <p>歯科衛生士・歯科技工士の養成に関する指定規則をもとに、効果的な教育を行えるように、専任打合せ会、教務打合せ会、学校運営小委員会等の会議で検討し作成している。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>(概要)・前期試験および後期試験を実施し、100点満点の60点以上が合格で、合格者には単位を与えている。本試験不合格者には、再試験を実施し再試験も100点満点の60点以上が合格である。</p> <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を用いて、客観的な指標として設定している。前期および後期試験を2回実施しており、いずれも同様の方法を用いている。</p> |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>(概要)・1月中旬頃に、非常勤講師を集めての教員会を開催し、成績や授業態度等について意見を貰い、最終的な卒業・進級の判断は校長が行う。</p> |
| 学修支援等 |
| <p>(概要)・欠席等があった場合は、定期試験前の放課後あるいは長期休暇を利用して、補習を行っている。また国家試験前は補講等を行っている。</p> <p>実技面においては、放課後を利用して実技上達の為に支援している。</p> |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|-------------|-------------------|-----------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 16人 (100%) | 2人 (12%) | 14人 (88%) | 0人 (%) |
| (主な就職、業界等) ・歯科技工所、歯科医院 | | | |
| (就職指導内容) ・就職オリエンテーション、進路希望調査実施と個人面談、履歴書記入から面接指導、各会社説明会への学生参加ならびに保護者の参加要請、長期休暇中の職場見学 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) ・歯科技工士 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 30人 | 3人 | 10% |
| (中途退学の主な理由) 体調不良、進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 本人と直接面談あるいは保護者を含め三者面談の実施 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---------------|-----------|-------------|--------------------------------|-------------|
| 歯科衛生 士科 | 200,000 円 | 400,000 円 | 130,000 円 | |
| 歯科技工 士科 | 400,000 円 | 550,000 円 | 1年次：250,000 円 2年次：300,000 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|---|----|----|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kdic.ac.jp/about | | |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・歯科医療界の要求や時代の変化に対応できる学生を育てるために、教育目標や教育環境等について評価し、その結果を公表しながら、より良い教育活動や学校運営が行えるよう改善の参考とする。評価項目としては、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守等。 委員の選出区分は、卒業生・開業歯科医師・外部非常勤教員などから選出する。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 未定 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う。 | | |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|---|
| http://www.kdic.ac.jp/ |
|---|